

Floppy's Phonics Stage 4 'Dolphin Rescue'

p.1

砂浜の上に、何か灰色のものが倒れていました。

「あれ、何だろう？」

p.2

「大変だわ！」とおばあちゃんが言いました。

「イルカよ」

「なんであんなところに倒れているんだろう？」とウィルフが言いました。

「病気かなあ」

p.3

「迷い込んでしまったのよ」とおばあちゃんは言いました。

「もっと深いところに戻してあげないと」

p.4

何人かの人がイルカのところに行きました。

p.5

「海の中までひっぱって行こう」ひとりが言いました。

「引きずって行けばいいさ」

p.6

おばあちゃんが駆け寄りました。

「ダメですよ！」おばあちゃんは叫びました。

「そっとしておいてあげて」

p.7

「今イルカの救助隊に電話をかけますからね」おばあちゃんは言いました。

「救助隊なら深いところまで連れて行ってくれますよ」

p.8

おばあちゃんはウィルマに言って、子どもたちが近づかないようにさせました。

「近づかないでください」

p.9

「体が横向きになってるわ」おばあちゃんが言いました。

「まっすぐにしてあげて」

「穴を掘って、そこにひれを入れましょう」

p.10

「体を冷やして」おばあちゃんが言いました。

「日陰もつくらなきゃ」

「バケツにどンドン水をくんで」

p.11

「噴気孔に水を入れちゃだめですよ」と誰かが言いました。

p.12

イルカの写真を撮ろうとした人がいました。

「ダメよ。イルカがびっくりしてしまうわ」

p.13

まもなく救助隊がやってきました。

p.14

救助隊はイルカを浮き袋に乗せました。

「獣医に診せるんだ」

p.15

救助隊はイルカを海に帰してあげました。

p.16

「無事に帰れるといいけど」とビフが言いました。

「ほんとにそうね」